

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシーB2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	根岸史人			実務 経験	有	職種	放送業務				
授業概要											
<p>将来放送業界に進むにあたり、TV放送における音声業務の役割を理解してもらうことが狙いである。日々進歩する技術に対応できるよう、音声技術の最低限の基礎・基本を身につけるとともに、2年次に受験予定の「映像音響処理技術者資格認定試験」の音の分野を先行して学ぶ。</p>											
到達目標											
<p>放送業界へ進むにあたり、最低限の音声技術に関する基礎知識を身につけ、番組制作の過程で音に関することの準備・考えることが出来るようになることが目標である。音の分野の視点から、業界全体の事を学び、自身の進む分野への活用方法を見出す。</p>											
授業方法											
<p>テキストを毎回配布し、重要ポイントをテキストに書き込み、映像の視聴を交えながら、目で見えない音の表現を理解できるようにする。音の分野に特化した映像だけでなく、他分野の特出的な演出映像も視聴し、興味・理解できるようにする。</p>											
成績評価方法											
<p>学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。</p>											
回数	授業計画										
第1回	TV音声スタッフの役割と仕事内容										
第2回	音の基礎知識（音の三要素とデンベル）										
第3回	音を録るマイクロフォンについて										

第4回	マイクレベルとラインレベルとは？
第5回	音の伝送方法
第6回	コネクタの種類と名称
第7回	音声用語(1)(技術用語)
第8回	音声用語(2)(演出用語)
第9回	仕込み図・系統図の基礎知識
第10回	MAの基礎知識
第11回	タイムコードの基礎知識
第12回	音声信号のデジタルとアナログについて
第13回	音声調整卓の基本的役割
第14回	音声卓への外部接続機器の役割
第15回	試験対策